



第二中学校だより

令和8年3月号

二中HP



R7 ミッション 「Two-Way コミュニケーションによる教育活動」

R8 へのプレリユード 「評価」を学びのエンジンに変える

— 「単元調査」の先に見据える、自律的学習者の育成 — 校長 小関 直

本校が「定期テスト」という形式を教員の総意で取りやめ、日々の学びをきめ細かく見取る「ポートフォリオ」を中心とした評価へと移行してから3度目の春を迎えようとしています。この改革は、単なる形式の変更ではありません。文部科学省が掲げる「個別最適な学び」の実現に向け、評価を「選別の道具」から「成長の羅針盤」へと再定義する取組です。

現在の入試、特に大学入試の5割以上（総合型・推薦型）は、点数だけでなく「探究活動」や「主体性」を評価する仕組みに変わってきています。目先の点数を追う以上に、自ら課題を見つけ解決する力こそが、難関と言われる進路を切り拓く真の競争力となります。そして、次年度からは県公立高校の入試も、この流れに沿った形で仕組みが転換されます。一般には見えにくい側面もあり、理解しにくい転換ではありますが、これまでのテストに依存した評価では、子供たちをリスクにさらす結果になることだけは明白です。

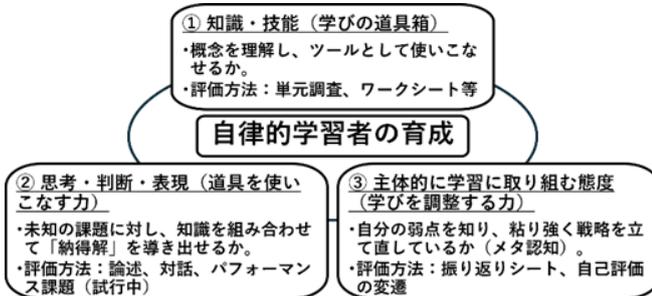
「テスト」から「調査」に込めた教育的意図

本校では「テスト」という言葉を極力避け、「単元調査」「学力調査」と呼称しています。これは、評価の目的を「点数による序列化」から、「現時点での理解度の診断と、次の指導へのフィードバック」へと転換させるためです。

従来の定期テストが「過去の清算（どれだけ覚えたか）」であったのに対し、単元調査、学力調査は「未来への投資（次に何をすべきか）」です。医師が診断結果を元に治療方針を立てるように、教員は調査結果をもとに、一人ひとりに最適な支援を再構築するフェーズを迎えています。

学力の三要素を可視化する「新しい評価」

現在、本校が注力しているのは、文部科学省の指針に基づく「三観点評価」の深化です。次の図解は、次年度に向けて私たちが保護者の皆様と共有したい「新しい学力の形」です。



次年度以降の展望：「シラバス」から「ルーブリック」へ

現在、本校では年間の学習計画を示す「シラバス」をお

伝えしていますが、次年度以降は、さらに踏み込み、「評価基準（ルーブリック）」の共有を段階的に進めてまいります。

「何を頑張れば、どのような力がついたと見なされるのか」という評価指標をあらかじめ生徒・保護者と共有することで、評価の透明性を高め、生徒自身が自らの学びをセルフプロデュースできる環境を整えていきます。

また、知識を実社会の文脈で活用する「パフォーマンス課題」についても、今後教職員間で、どのような課題が真に子供たちの思考を揺さぶるのか、検討を加速させていただきます。一朝一夕にはいかない変革ですが、教職員の意識を揃え、質の高い評価の場を設計していくことが、次年度の最優先事項です。

保護者の皆様へのお願い

この改革の最大の鍵は、大人の「眼差し」の転換です。

「調査（×テスト）は何点だった？」という結果への問いを、「今回の調査で、自分の得意や課題をどう分析した？」というプロセスへの問いに変えてみてください。失敗を「改善のためのデータ」として歓迎する家庭と学校の連携こそが、変化の激しい時代を生き抜く「自律的な学習者」を育てます。

本校は、過去の慣習に安住することなく、常に学びの在り方をアップデートし続けます。次年度も、本校の教育活動への変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。

【本校の評価改革に関するQ&A】

Q1：単元調査の結果が思わしくなかった場合、どうフォローするのですか？

A1：調査は「点数をつけて終わり」ではありません。結果を分析し、再学習の機会を設けたり、個別のアドバイスを行ったりすることで、単元の核心的な理解を取りこぼさない「伴走型」の支援を徹底していきます。

Q2：ルーブリックとは何ですか？なぜ必要なのですか？

A2：成績をつけるための「物差し」を具体的に言語化したものです。これを共有することで、生徒は「何をどこまで深めればよいか」という見通しを持って学習に取り組めるようになります。

Q3：パフォーマンス課題が導入されると、公平性が保たれるか不安です。

A3：公平性とは「全員に同じ課題を課すこと」だけでなく、「一人ひとりの異なる発想を正当に評価すること」も含まれます。教員間での相互採点や評価基準の精緻化を行い、主観を排した妥当性の高い評価体制を構築してまいります。

○教員の超過勤務の実態 ※法令上、超過勤務は、月45時間、年間360時間（月平均30時間）までと定められています。

服務監督違反となる1月の実態：45時間越え11名（内、80時間（過労死ライン）越え0名、100時間（〃〃）越え0名）（前月比：±0）

1月の平均超過勤務時間：27時間12分（前月比-1時間3分） ※今後、80時間を超えた教員の時間外勤務は抑制されます。

○いじめの認知件数 ※法律では、いじめを「心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であつて、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの」と定義しています。

1学期49件、9月14件、10月19件、11月13件、12月6件、1月10件、2月19件 累計：130件

※今月は、ひやかし、からかい、ダルがらみといった一見些細な出来事から感情のもつれが生じ、トラブルに発展する事案が多く発生しました。これらは全てが「いじめ防止対策推進法」上のいじめです。ひやかし、からかいに我慢ができずに手が出た場合も、いじめの被害者でありながらいじめの加害者としても認知されます。子供は集団の中でコミュニケーションを学びます。我が子の言い分だけで突っ走ることはお控えください。

新座二中キャッチフレーズ
 明るいあいさつ 光る汗 きれいな学校 きれいな心

3月の学校行事 [完全下校 17:00]

3/1	日	
2	月	45分5時間授業(月 54321)
3	火	45分5時間授業(火 12456) 3年県公立入学者選抜追検査
4	水	45分5時間授業(水 34125), 3年球技大会
5	木	三年生を送る会
6	金	5時間授業(金 13456), 清掃なし, 14:55 下校 2年&若葉おはなしの雫 県公立高等学校入学許可候補者発表
7	土	
8	日	
9	月	5時間授業(月 54123)
10	火	5時間授業(木 13456), 若葉学年末保護者会
11	水	5時間授業(水 53416), 卒業式予行, 2年全国学調(英語)事前検証, PTA 環境係作業
12	木	5時間授業(火 2356+卒業式準備)
13	金	第54回卒業証書授与式(1・2年臨時休業日)
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	5時間授業(火 6534 水6), 2年学年末保護者会
18	水	5時間授業(水 13426), 2年球技大会 1年学年末保護者会
19	木	5時間授業(木 12563), 1年球技大会, 第12回専門委員会(最終), 第5回学校運営協議会
20	金	祝日:春分の日
21	土	
22	日	
23	月	5時間授業(金 12356), 給食最終日
24	火	3時間学年内授業, 給食なし, 2年卒業生講演会, 市内小学校卒業証書授与式
25	水	3時間授業(学活・集会・大掃除), 給食なし 新入生一日体験入学
26	木	修了式, ふれあいデー※部活動なし
27(金)~31(火)学年末休業日		
4/1(水)~7(火)春季休業日		

第54回卒業証書授与式 【令和8年3月13日(金)】

本校は会場のスペースに限りがあるため、保護者の参列は生徒1名につき保護者1名とさせていただきます。保護者の皆様には、何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願いたします。

なお、第1・2学年は臨時休業日となります。

電話対応について

3月および春季休業中の電話対応は以下のとおりです。それ以外の時間及び休日は自動音声対応となります。

平日(授業のある日) 8:00~18:00

// (学年末休業中・春季休業中) 8:15~16:45

転出予定の方はお早めにお知らせください!

来年度の学級編成等に大きく影響するため、ご協力をよろしくお願いたします。【第二中教頭宛：048-477-1212】

4月の主な学校行事

- 1(火)~7(月)春季休業日
 - 7(火)新3年新年度準備登校, PM 校舎内生徒立入禁止
 - 8(水)第1学期始業式, 入学式
 - 9(木)3時間授業, 給食なし, 12:00 下校
 - 10(金)3時間授業, 給食なし, 12:00 下校
 - 13(月)5時間授業, 給食開始, 新2年&新3年発育測定
 - 14(火)6時間授業, 新入生歓迎会, 新1年&若葉発育測定
 - 15(水)前期時間割試行期間開始, 新1年部活動仮入部開始
 - 16(木)新3年保護者会
 - 17(金)新2年保護者会
 - 20(月)新3年&若葉おはなしの雫, ふれあいデー※部活動なし
 - 21(火)新3年全国学調①(英語, 質問紙 CBT), 新1年保護者会
 - 22(水)前期時間割開始, 通常5時間日課(水 12345),
第1回専門委員会(前期最初)
 - 23(木)新3年全国学調②(国語, 数学 PBT)
 - 24(金)5時間授業(金 12356), 若葉保護者会
 - 27(月)新2年おはなしの雫
 - 29(水)祝日:昭和の日
 - 30(木)5時間授業(木 12456), 部活動本入部開始(新1年)
- ※予定は変更となる場合もあります。予めご了承ください。
 ※次年度より、おはなしの雫は月曜実施に変更となります。

二中生の活躍

- 【新座市人権教育推進協議会 人権作文】
(優秀賞)
- 【全国中学生人権コンテスト埼玉県大会】
(地区予選優秀賞)
(出展)
- 【女子バレーボール朝霞地区一年生選抜選手認定】
- 【埼玉県ジュニア選手権バレーボール大会】
(南部地区第2位)
(県大会Aブロック第4位)
- 【新座市女子バレーボール1年生大会】
(第2位)

- 【第32回 JBA 埼玉県部会管打楽器ソロコンテスト中学生部門】
(銀賞(コトバズ))
(銅賞(カヲリネット))
- 【第32回 JBA 埼玉県部会第3回ゲョクコンテスト中学生部門】
(優良賞(フルト二重奏))

お知らせ

今年度もご愛読いただき、誠にありがとうございました。次年度も配信メール及びホームページからご覧ください。

新座二中 HP はこちら→

